

おめでとう150周年
五城目小大運動会



秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会

主な内容

- 6月定例会の経過 2
- 常任委員会の焦点 4～5
- 一般質問に **9名** 登壇 6～15
- あれ なんとなったべが！ 17

Contents

No.159
2024.7.1

6月定例会は6月10日から17日まで8日間の日程で開かれた。

初日 1件の議員研修報告の後、渡邊町長は行政報告で、『地方創生臨時交付金を活用した「新たな非課税世帯等給付金事業」と定額減税で控除しきれない世帯への「定額減税調整給付金等事業」

急がれる復旧 今後の対策を



アクリル板が取り除かれ、コロナ前に戻った議場

の実施、地域おこし協力隊1名・集落支援員4名の委嘱、地域防災計画の改訂、新型コロナウイルスワクチン接種への助成、昨年の大雨災害からの農地・農業用施設・林道の復旧状況、「さやどっこまつり」の7月28日前倒し開催、河川整備・内水浸水対策の現状、水道料金・下水道使用料改定の検討、教育留学の取り組み状況、議場を活用した子ども議会、3年目となる「みんなの学校」、6年ぶりの全町体育祭開催、矢田津世子没後80年事業を行うこと」などについて述べた。

2日目 一般質問に新人4名を含む6名が登壇。子ども基本計画、馬場目川の河道掘削、治水対策、少子化・人口減少問題、公共交通の空白地帯解消、朝市対策などを質問した。

3日目 3名が一般質問に立ち、災害に強いまちづくり、厳しい町財政運営、河川の水質悪化などを質問。
当局より令和6年度一般会計補正予算など14件の議案が上程され、各常任委員会審査した。

4日目 各常任委員会。

最終日 各常任委員長報告の後、人事案件を含む全15議案を承認、報告済、可決、同意した。また陳情1件を全会一致で採択し、委員会提出議案1件を可決し閉会した。

定例会で決した 主な内容

- 五城目町町税条例の一部改正
- 五城目町国民健康保険条例の一部改正
- 令和6年度一般会計補正予算の主なもの
- 新たな非課税世帯等給付金事業 2,535万円
- 定額減税調整給付金等事業 5,901万円
- 予防接種費 1,163万円
- 防犯防災対策費 572万円
- 過年度災害復旧事業 6億7,925万円



復旧工事が進む廣徳寺橋

(椎名 志保)

第3回 議会議員全員協議会

令和6年5月27日

報告案件

- (1) 令和5年7月大雨災害関係について
- ① 災害関連予算の措置状況等について
- ② 災害復旧事業実施状況について
- ③ 下水道事業における内水浸水対策について
- ④ 廣徳寺橋橋梁災害復旧工事について
- ⑤ 五城目町地域防災計画の改訂について
- (2) 国民健康保険特別会計運用状況について
- (3) 五城目町こども計画の策定について
- (4) 秋田県による河川整備事業説明会について

※議会議員全員協議会とは
議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場であり、議員と町長はじめ町執行部が出席して行われる。



ワークショップでの情報を地域防災計画へ



遊具の設置、場所を含め検討を

議員研修報告

議員のなり手不足、
打開の道を学ぶ

研修名
令和6年度
町村議会議長副議長研修会

研修期間
令和6年5月21日

研修先
東京国際フォーラム

参加議員
石川 交三
斎藤 晋



千代田区にある研修会場

人権擁護委員の 推薦に同意



新任
宮城 正人氏 (65)
蓬内台

(椎名 志保)

マイナンバーカード 保険証と一体化進むが



国はマイナ保険証を推進

令和6年12月2日以降は、新しい保険証が発行されない。現在発行されている保険証は最長1年間有効。それまでに、マイナンバーカードと保険証の紐付けが必要になる。

委員から「高齢者や身動きが取れない方にとり周知して支援していくのか」と質疑があった。

当局から「広報に掲載し、チラシを作って周知していく。有効期限内に紐付けが完了していない方には、資格確認証（保険証に代わるもの）を送付する。介護事業で見回りに来る人や民生委員などからの情報を共有しながら対応していきたい」と答弁があった。

令和6年3月現在の国民健康保険加入者1,699人に対し、マイナ保険証に紐付け完了者が1,091人で64%、医療機関での利用率は8%。

教育民生 常任委員会

災害復旧工事の進捗状況は



復旧工事中の廣徳寺橋

令和4年、5年の豪雨により発生した農地・農業用施設災害をはじめ、林道、土木災害などの復旧工事が6年度に繰越して実施されるとの説明が当局からあった。

委員から「農地関係と土木関係の事業量、工事件数は」と質疑があった。

当局から次のように答弁があった。

○農地・農業用施設災害

- ・4年度39ヶ所は完成済み。残り4ヶ所を繰越。
- ・5年度77ヶ所の内16ヶ所は完成済み。6年度への繰越が23ヶ所、加えて6年度事業で38ヶ所を実施。

○林道施設災害

- ・4年度16ヶ所は完成。残り1ヶ所は6年度へ繰越。
- ・5年度7ヶ所は、6年度へ繰越。

○河川災害

- ・4年度1ヶ所は、6年度へ事故繰越。
- ・5年度災の河川17ヶ所、道路2ヶ所、橋1ヶ所（廣徳寺橋災害復旧工事）は、6年度へ繰越。
- ・廣徳寺橋橋梁災害復旧工事は、現在施工中。

内容は被災橋梁の上部工（床版・橋桁）

総務産業 常任委員会

新型コロナワクチン定期接種へ 一回3,000円の補助

令和6年4月1日以降、新型コロナワクチン接種は定期接種として実施する。対象者は、(1)年齢65歳以上 (2)60歳から64歳の対象となる方で、秋以降実施予定。コロナワクチン定期接種にかかる費用として一人あたり3,000円を補助する。

委員から「自己負担額はいくらか」と質疑があり、当局から「医療機関により異なるが約4,000円の自己負担額になる」と答弁があった。

新たな防災計画を策定

防災計画の改定支援業務を委託するための費用を増額補正する。

委員から「防災会議も連携しながら作成することだったが、計画を早期に提示してほしい。町民の意見も反映さ

新たな非課税世帯へ 給付

国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく物価高騰対策として、1世帯当たり10万円を支給する。

対象は、令和6年6月3日現在、町住民基本台帳に記載されている世帯のうち、世帯全員が令和6年度から新たに住民税非課税世帯である世帯と新たに住民税が均等割りのみ課税となる世帯。

また、対象者のうち、18歳以下の子ども一人あたり5万円を加算。

委員から「何世帯分の予算措置か」と質疑があり、当局から「住民税非課税世帯100世帯、住民税均等割り世帯100世帯と18歳以下の子ども100人を見込んでいる。また、令和5年度に既に給付を受けている世帯は、対象にならない」と答弁があった。

令和6年7月中に対象世帯に申請書を送付。

・申請期限は、令和6年8月30日まで。
総事業費 2,535万円

コミュニティの充実

令和6年度のコミュニティ助成事業は、上高崎町内会に220万円を助成する。委員から補助金の内訳を問う質疑があり、当局から「本来250万円が上限であるが、エアコン、冷蔵庫、テント、折り畳み椅子、除雪機などの申請があり、補助額220万円である」と答弁があった。

※本事業は宝くじの社会貢献広報事業による。

(石川 重光)



備品が整備される上高崎公民館

の耕作状況と、町外業者施工箇所不具合があり、手直した事例はあるか」と質疑があり、「耕作については概ね田植えまで完了している。不具合のあった箇所については、元請業者に対応させた。一部、町内業者に協力を依頼した」と当局から答弁があった。



子どもたちと語らうゾーイさん

ありがとう ALETゾーイ・ フェルさん

令和6年7月31日で、2年間の任期満了となり帰国予定。

内水氾濫、水門の 管理はどこか

町長 管理体制協議を迅速に進める



スピード感を持って取り組むべき

松浦 昨年9月議会で「水門管理は農業水利に使う団体、個人の方と協議していく」と答弁があった。協議の現状は。

町長 大川地区水門など、12施設について地元関係者、土地改良区と現地調査を行った。関係者でさえも、設置されていることが未認識であった。今後は県と町、土地改良区で管理体制の構築に向けた協議を実施する予定であり、スピード感を持って対応したい。

松浦 空き家や空き店舗が全体的に多くなっている中で、朝市通りを中心にリノベーションを行い、新しい店が生まれている。

この動きを積極的なものへとするため、空き家や空き店舗を町が再生し、チャレンジショップを行う環境づくりを行えないか。

町長 空き家や空き店舗の活用として、チャレンジショップのための環境整備は考えていないが、町は「起業等支援補助金」や「事業所改修補助金事業」を実施している。

松浦 遊具や公園について、町民の声を入れてほしい。ワークショップを予定する実施人数、回数、進め方などの

町長 「第2期子ども・子育て支援事業計画」の計画期間終了にともない、ニーズ調査を行った。「子育て支援として今後力を入れていくべきこと」の複数回答として、「子育てにかかる経済的負担の軽減」50%「あそび場の整備」43・1%となっている。

町長 今年度予定である「子ども計画」では、子ども若者世代の意見を集める方法として、ワークショップの開催を2回計画している。

松浦 子ども施策は、健康福祉課、教育委員会、住民生活課、まちづくり課など多岐にわたる。他自治体の事例のように課を超えるための専門職員を配置するなど工夫はできないか。

町長 子ども家庭庁関連の子ども施策については、複数課をまたがる事業を展開しなければならぬことから、専門職員の配置や機構改革の実施に向けて検討を進め対応していく。

あなたにかわって 聞きました 一般質問



松浦 真

一般質問動画はQRコードから

五城目町の空き家、空き地バンクの現状は

松浦 空き家や空き店舗が全体的に多くなっている中で、朝市通りを中心にリノベーションを行い、新しい店が生まれている。



子どもや当事者の意見を反映した計画策定を

一般質問

9議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

松浦 真 議員

- 子ども基本計画について
- DX活用の推進に向けて
- 五城目高校との連携について
- 豪雨水害にともなう水門の管理について
- 五城目町の空き家、空き地バンクの現状は

工藤 政彦 議員

- 馬場目川（磯ノ目地区沿線）の河道掘削工事の工期の明示について
- 町道五城目外環状線（通称広域農道）の県道昇格について
- 「子どもの祭典」の復活について
- 鳥獣被害対策に伴う「電気柵」設置者への補助金の交付について

小玉 正範 議員

- 河川の治水対策について
- 林業について
- 町が関わる各施設の維持管理について
- これまでの保健対策の確認について

中村 司 議員

- 渡邊町政5期20年について
- 少子化・人口減少問題について
- 行財政全般について
- 人事管理について
- 広域行政・広域連携について

佐沢由佳子 議員

- 水害のその後について
- 公共交通の空白地帯解消と利用者のニーズの把握を
- 各地区公民館を利用した新たなコミュニティ作りを
- 商店街の空き店舗の活用とマッチングについて

石川 重光 議員

- 朝市について
- 水害について

荒川 滋 議員

- 安全に住める町でなければ何も始まらない。災害に強い町になるために
- 消防広域化に対する本町の考え方について
- 安心して子育てができる環境づくりについて
- 幸福度が増し希望と誇りが持てる町であるための施策について

椎名 志保 議員

- 厳しい財政状況、どう町政を運営していくのか
- 積極的なキャリア人材の採用を
- 少子化に伴う学校施設の今後は
- 見守りの組織づくり、取り組みはどうなっているか

斎藤 晋 議員

- 河川の水質の悪化について
- 少子化・人口減の対策について
- 通学路の路面整備及び除草について
- 熱中症対策について

*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



今後、河川の治水対策はどうする

あなたにかわって
聞きました

一般質問

町長 堆積物除去と伐木を 継続すること

建設課長 水門・樋門の操作については、6月18日、県との打ち合わせで決定される。

小玉 内川川、富津内川、馬場目川地域の河川工事が完成するまでの数年間の治水対策は。

町長 内水浸水対策検討業務は5月27日に委託契約をしている。今後、有識者や職員などの協議の場を設け、年内に方針が決定次第、住民に対する説明会を開催し、意見を聞く。

治水対策で住民に 安心を



小玉 正範
(公明党)

一般質問動画はQRコードから

町長 木材の搬出は事業者により計画的に実施されている。公共事業として、大量の木材が必要になる予定は現時点ではないが、男鹿南秋田森林組合がスタートしており、これからの事業展開に期待したい。

木材産業の振興を

小玉 五城目町は木材の町だった。現在、再び条件が整っている。町には木材産業の振興を図る計画はないか。

町長 不安を抱える地域住民に寄り添い、何としても水害を防ぐという強い意気込みを町民と県に表明して頂きたい。



築45年となる赤倉山荘

町長 町では県へ要請し、関係地区での詳細な説明会を開催し、多数の意見や要望も聴取している。6月26日開催の第2回検討委員会では住民の意見や要望が「馬場目圏域河川整備計画」に反映されるよう働きかける。

小玉 赤倉山荘の温泉の泉質は評判がよく、県外のお客さんからの評価も高い。しかし、設備の老朽化が進んでいる。町の大切な観光資源の一つとして、今後設備を補修・改修する予定はあるか。

町の宝を未来に 残そう

の不具合箇所は専門業者が調査中である。

購入品は有効に 使って

町長 今年4月に軟骨電動イヤホン、ヤホンを2台購入し、住民生活課と健康福祉課の窓口に一台ずつ設置。現在まで利用実績はない。引き続き、来庁者に窓口への掲示物などでPRしていく。

小玉 町は5、6年前にマンホールトイレを購入。昨年7月の災害時には、ある寺院のトイレ前に利用者の列ができていたが、マンホールトイレは使用したのか。

町長 町では、3基のマンホールトイレを保有している。昨年は仮設水洗トイレを10基リース契約で確保できたため、使用していない。

広域農道を 県道に昇格させよう

あなたにかわって
聞きました

一般質問

町長 今年度、県へ要望したい

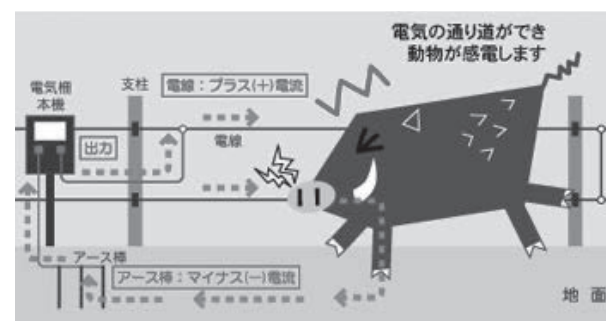
工藤 五城目町国道285号から秋田市黒川区間、約16kmの広域農道は、本町民の利用に加え、県北部から秋田市への往来が激しい。その交通量は周辺の国道や県道に匹敵する。毎年除雪費や維持補修費に多額の経費がかかり、各市町とも苦慮している。広域的な幹線道路としての機能は既に果たしており、県道への昇格を提言する。

町長 旧中央広域農道の秋田市から五城目町の区間は県北部から秋田市へ、また秋田市街地を迂回し県南へのバイパスであり、一般車両や、トラック・バスなどの往来が増加し、維持管理に多額の費用を要している。今年度、県道期成同盟会などで、県道昇格への要望をしたい。



工藤 政彦

一般質問動画はQRコードから



「電気柵」の設置に補助金を

イノシシなどの 被害対策に補助を

工藤 農林水産省は、動物が田畑に侵入するのを防ぐ「電気柵」などを設置する「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」を実施していると聞くが、町ではこれらの対応をどうしているのか。

町長 「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」のメニューとして電気柵・ワイヤーメッシュ柵などの侵入防止柵の整備があるが、地域ぐるみでの管理が課題であることから実施していなかった。しかし、イノシシなどの農作物被害が

「子どもの祭典」 の復活を

工藤 全町の子どもたちの思い出の1コマとして、ふれあいや思いやりのある情操豊かな人間に成長することを目的に「五城目町子どもの祭典」を復活できないか。

町長 現在は、子どもたちの多種多様な交流行事が実施され、様々な経験を培っているものと思われる。今後、子どもたちの心に残る交流のあり方などを考えるうえで参考に



キャンプファイヤーで思い出のひと時を

増えてきたことから交付金を活用し電気柵などの導入へ対応していく。

馬場目川（磯ノ目地区沿線）可動掘削完成時期の明示を

町長 富津内川との合流部分と五城目橋下流部のせり出ししている部分については今年度撤去を実施し、今後その他の部分についても継続して撤去する旨の県の説明があった。完成時期については、あくまでも維持管理事業は継続事業であることを理解願いたい。



まだまだ土砂撤去が必要な馬場目川

商店街再生へ 空き店舗のマッチングを

町長 商工振興課に窓口を設置する



朝市plus+の賑わいを町へどう生かす

佐沢 シャッターが閉まっている商店が増えている。一方、町内外から空き店舗を賃貸や購入しての出店も増えている。空き店舗や空きスペースの賃貸の意向調査や情報を集約し、相談窓口を設置しマッチングをすることにより、商

あなたにかわって
聞きました
一般質問



佐沢由佳子

一般質問動画はQRコードから



佐沢 立派な公民館が各地区にあり防災のためのWi-Fiも完備されている。町民同士をつなぐコーディネーターを配置し、地区公民館が集まりやすい場所をつくることにより、防災、公共交通、買い物弱者対策、介護予防、Wi-Fiの活用による利便性の向上など複合的な拠点になり得る。町としての考えは。

**新たなコミュニティ
づくりを**

店街の再生に効果があるのでと考えるがどうか。
町長 まずは、朝市通りの空き店舗や空きスペース所有者の売却や賃貸への意向調査により情報収集に努め、商工振興課に窓口を設置する。



普段の商店街

町長 止水板設置は、令和5・6年2カ年で整備を進めており、7月下旬に完了予定。昨

水害のその後は

佐沢 町民のライフラインである浄水場について、令和5年7月と同じ水位に達した時に、止水板設置で対策は十分か。

町長 五城目町中部での拠点間移動を含め、町内全地区での乗り合いタクシーの運行を目指し、業者などと協議・検討を進めていく。

**公共交通の
空白地帯解消を**

教育長 生きがいの創出に貢献できるよう集える機会や学べる機会の提供、町民のつながりがづくりが増えるよう考えている。各課との連携を図り、複合的な拠点となり得るよう努力する。



写真は2018年5月18日 磯ノ目地区の水害は2度目

年の浸水痕跡を確認し、高さ1mの止水板を設置することにより、被害は軽減されるものと考えている。今後、浄水場の改築も含め、災害に強い浄水場を目指す。
佐沢 内水氾濫対策について、具体的な今後の予定は。

町長 内水氾濫対策事業については、5月27日付で業務委託契約を締結、年内に対策の方針（素案）が定まる。令和7年度で実施する内水氾濫対策の設計業務に反映するため、専門的な見地からの意見を聞く協議の場を設置、住民に対する説明会も開催する。

渡邊町政5期20年を問う

町長 町民の評価を得て、公務を全う

あなたにかわって
聞きました
一般質問



中村 司



一般質問動画はQRコードから

中村 「渡邊町政5期20年の成果と課題」についての自己評価は。
町長 2度の町総合発展計画を策定し、計画に基づき公共施設は、小・中学校校舎を始め、地域図書室、消防庁舎、朝市ふれあい館、火葬場、備蓄倉庫を建設。「しごとづくり」「移住定住対策」「少子化対策」「地域づくり」の4つの基本目標を掲げ、各施策を推進。また2年続いた大雨災害からの復旧に向け全力を傾注している。自己評価は、自分がするよりも、町民が評価してくださったことで、これまで公務を全うできている。



令和2年 完成した五城目小学校

町長 人口戦略会議が公表した同報告は2050年までの若年女性（20歳から39歳まで）の人口減少率50%以上が対象。前回公表時2014年より同減少率は改善されており、これまでの事業の有用性や効果を感じている。今後課題解決に真摯に取り組む。

**少子化・人口減少
への対策どうする**

中村 人口戦略会議から「削減可能性自治体」と指摘された。2023年当町の出生数16人（前年比6人減少）、死亡数183人（同20人増加）、婚姻数4組（同7組減少）であった。当町の人口は2040年には4,958人で、本年3月末より約3,000人減少すると予想している。町長としてどう捉える。

**人口社会減を防ぐ
には、働く場所確保が不可欠**

中村 日本の製造業は、国内回帰への動きがある。姉妹都市千代田区からの情報提供や紹介、五城目町出身者などの人脈を足掛かりに「オール五城目」で、企業誘致に取り組む考えはないか。
町長 姉妹都市千代田区や「ふるさと五城目会」などの情報により実施している。また町内企業や移住者の方々からの情報取得、県が首都圏で開催する企業セミナーや懇談会へ参加するなど、企業との縁づくりを進め、引き続き雇用創出に努める。



少子化にも負けない運動会

**通勤時の高速道路料
金の片道無料化を**

中村 新規転入者を対象に、秋田市などへの「通勤時高速道路料金片道無料化」により、転入者（世帯）増加に取り組む考えはないか。

町長 地方創生総合戦略に基づき、関係人口創出事業、教育留学事業、移住支援金給付事業などを実施している。今後移住者の増加に向けて施策に取り組んでいく。

**地区別町政説明会
の開催を**

中村 政策実現のためには行政の現状や課題について、町民に理解と協力を得ると共に、協働の意識醸成を図るべき。「町政説明会」開催を提案する。

町長 議会での説明内容は、広報や町ホームページで発信している。このほか、町内会長会の研修会や各種会合などで町の課題や施策について説明している。要望があれば実施したい。

町からの要望に対する 県の反応は

町長（県）河道掘削など優先実施に配慮する

あなたにかわって
聞きました

一般質問



荒川 滋

一般質問動画はQRコードから

荒川 3月28日、河川に関する要望書を県知事に提出していたが、反応はどうか。

町長 県は要望書の内容や、地区説明会と公聴会で得た住民からの意見要望は理解しており、出来る限り優先的に行う意向。

荒川 県の河川整備が行われる河川上流部。令和15年予定とされる完成まで、安全確保のため町の役割は何か。

町長 計画対象外の箇所も含め河川維持改修について現状把握に務め、早期改善されるよう随時要望していく。また、避難行動対応も重要で町内会や自主防災組織、関係機関の協力を得ながら災害に強い町づくりを進める。

荒川 県は県内すべての消防本部統合を目指している。男



県内では消防本部の広域化が進むが当町はどうなる

消防本部広域化に 対する町の考えは

町長 今後進める内水浸水対策で実施可能な対応と合わせて県や関係機関と連携し総合的に対策を検討する。

町部用水路の擁壁 かさ上げで住家を守れ

荒川 短時間の雨でも用水路の水位が上がり、沿線住民は大きな不安に駆られる。越水を繰り返す水路のコンクリート擁壁かさ上げで、沿線の住家を浸水から守る考えはあるか。

プール隣、複合遊具 撤去の経緯と今後



貴重な遊び場がなくなった雀館運動公園

荒川 町の宝である子どもたちの大切な居場所、貴重な複合遊具が撤去された。撤去の経緯と今後の予定は。

町長 平成9年設置で劣化が進み昨年6月から使用禁止とされていた。修繕に約560万円かかり、数年でまた改修が

荒川 若者世代、子育て世帯の支援を具体的に進め『子育てするなら五城目町』の実現を必要になることが想定され、撤去した。今後、町民の声を反映させながら進めていく。

町長 子育て世代の住まいに関する具体的な検討はしていないが、学校給食費や保育料の無償化を実施し、少子化対策の取組を進めている。

荒川 町中心部のシャッター街解消に向け、空き店舗のニーズ掘り起しとマッチング、情報発信を行う空き店舗バンク設置を。このままでは町の顔である『まちなか』が完全に消滅してしまう。

町長 まずは朝市通りにおいて情報収集に努め、相談体制を整え不動産事業者とも連携し、マッチングにつなげていく。

空き店舗バンク設置 で町の顔を守れ

定市場設置者としての責任は

町長 朝市を先人から次代へ引き継ぐ使命

あなたにかわって
聞きました

一般質問



石川 重光

一般質問動画はQRコードから

朝市の現状をどう 受け止めるか

石川 朝市出店者が減少し続け、存続に危機感をもっている。

町長 出店店舗数、令和5年度1回あたり13・3店舗、10年前の約1/2、20年前の約1/4となり、町としても危機感を抱いている。

石川 出店者の負担軽減や出店しやすい環境づくりのため、定市場使用料の見直しの考えは。また、出店意欲を高めるため、報奨内容を拡充すべき。

町長 来年10月招致を予定している全国朝市サミットを目的に使用料を定めた条例改正などの施策を講じる。

朝市報奨事業について、36回の出店に対し1,000円の報奨品では、出店意欲の向上に効果が期待できないとの



平日の朝市出店者

指摘もあり、朝市振興委員会において議論し対応していく。

石川 広く朝市に関心を持ってもらうため、「朝市コーナー」を毎月広報に掲載し、PRに努めたらどうか。

町長 出店者の横顔や自慢の商品の紹介は、出店意欲の向上にも効果が期待できることから、掲載に向かいたい。

堆積土砂撤去で 不安解消へ

石川 馬場目川下流部（本町部）における堆積土砂の撤去を一刻も早く行い、町民の不安を解消することが重要、撤去の時期は。

町長 秋田県に確認したところ、馬場目川の土砂撤去のための河道掘削は、富津内川合流部の工事発注は終了。下流部についても、現在早期発注に向け準備をしている。発注時には情報提供いただくこととしている。



五城目橋下流の堆積土砂

石川 堆積土砂撤去後も定期的に（例…5年に一回）伐木、洲ざらいなどを行い、洪水に備えることが重要ではないか。

町長 県では、河川パトロールにより雑木の繁茂状態や、土砂の堆積状況を監視し、状況に応じて対応していく。

町も河川状況の情報提供に努めていく。

石川 都市下水路水門の管理について、内水氾濫と馬場目川からの逆流を防ぐという対策を早期に示し、実施すべき。

町長 樋門については、ゲートを開めたことによる内水氾濫の規模の増大が考えられる。どのタイミングでのゲート操作が有効なのか種々検証し、対策を講じる。

熱中症アラートが出たら 公共施設開放を

町長 指定公共施設を検討中

町長 国の気候変動対応法に基づき「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」の指定について準備している。まずは、公共施設から指定することを検討しており、商業施設にも協力を呼びかける準備を進めている。熱中症特別警戒アラートは、環境省や気象庁から、健康被害が発生する恐れがある場合に、都道府県ごとに前日の午後2時に発表される。アラートが発表された場合、速やかに避暑のた

熱中症から 町民を守れ

斎藤 物価が上がりがり町民は節約をしなければならぬ。クーラーを我慢する人も出てくる。クーラーのきいた公共施設を開放し、町民の熱中症対策をすべき。

あなたにかわって

聞きました

一般質問



斎藤 晋

一般質問動画はQRコードから

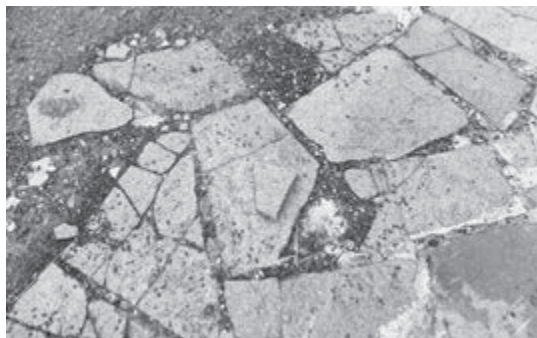


魚が住めない川になったのか

町長 河川の水質悪化（濁り・泥水）の原因は何か、責任は何処にあるか。

川が 死んでしまう

め利用できる公共施設などを周知する。



修理が追いつかない通学路



草刈りできれいになった通学路

泥水流出も原因と考えられる。さらに、田んぼの代掻きによる落とし水も川に流入す

るので、複合的な要因が重なるため、責任の所在は判断が難しい。

厳しい財政状況 どう乗り切る

町長 効率的な行財政運営に努める

町長 「出会い結婚に関する若者交流イベント」「空家利活用推進イベント補助金」「敬老式バス送迎」などを実績により廃止。「子育て支援クーポン券配布」は誕生祝い金を増額し、使途を拡大した。今後でも限られた財源の中、事業の見直しを行い、効率的な行財政運営に努めていく。

椎名 独自政策を打ち出す財源として、企業版ふるさと納税に取り組むことを提言している。取り組みはどうなっているか。活用事業をどう考えているか。

町長 「出会い結婚に関する若者交流イベント」「空家利活用推進イベント補助金」「敬老式バス送迎」などを実績により廃止。「子育て支援クーポン券配布」は誕生祝い金を増額し、使途を拡大した。今後でも限られた財源の中、事業の見直しを行い、効率的な行財政運営に努めていく。

あなたにかわって

聞きました

一般質問



椎名 志保

一般質問動画はQRコードから



財源確保にも努力を

町長 国の計画認定に向け、申請書を提出した。寄附金額の目安を1,200万円とし、しごとづくりや移住促進で婚姻数や出生数の改善に取り組む他、地域コミュニティ活動や地域公共交通維持にも取り組む。

町長 喫緊の課題は、子どもが生まれにくいということだ。子育てや教育にお金がかかるのと理由で、子どもを持たない選択をしたり、もう1人を諦めるとも聞く。企業版ふるさと納税を基金として積み立て、無返還の奨学金制度を構築し、希望する町のすべての子どもに大学・専門学校進学の際の入学金・学費など、初

積極的なキャリア 人材の採用を

町長 年度納付金を賄える額を支援することを提案する。



職員も参加した日枝神社神幸祭

見守り組織づくり 進捗状況は

町長 昨年の大雨災害での経験から、コミュニティナース組織の立ち上げを提言している。進捗状況は。

町長 町で委嘱した集落支援員と打ち合わせを行っており、見守りが必要な高齢者への訪問や、地域での活動を通じた実態把握など、コミュニティナース活動について連携を進めていく。多職種合同会議で情報共有を行いながら、本町の実情に応じたサポート体制を協議している。

その他に

- 水質悪化で魚が居なくなり漁協の収入減の責任は
- 昔の川に復元できるか
- 城と川のある町、川沿いに散策路を
- 町の少子化対策は効果があったのか
- 少子化対策で国県町合わせて子ども一人一千万円補助を
- 通学路の路面整備・除草を
- 通学路の除草は県でなく町で実施できないか
- 町の熱中症対策はあるか・子どもを守る対策はあるか

などを質問した。

陳情と意見書

6月定例会で採択となった陳情を意見書を添えて関係機関に送付しました。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書
提出に関する陳情

陳情者

連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会

議長 太田 修

意見書抜粋

2025年度政府予算また地方財政の検討において、賃上げ基調に相応する人件費の確保を含めた地方財政を実現するよう要望する。

意見書提出先

衆議院議長 額賀福志郎
参議院議長 尾辻 秀久
内閣総理大臣 岸田 文雄
財務大臣 鈴木 俊一
総務大臣 松本 剛明
厚生労働大臣 武見 敬三
国土交通大臣 斉藤 鉄夫
デジタル大臣 河野 太郎
内閣府特命担当大臣 加藤 鮎子

請願・陳情の提出方法

町政に対するご意見・ご要望があるときは、誰でも町議会に請願書・陳情書などを提出することができま。提出された陳情書などは、委員会で審査されます。その結果、願意が妥当であると認め、本会議で採択された場合、町や教育委員会などの関係機関に対する措置要求、国や関係行政庁に対する意見書の提出などを行います。

請願書および陳情書を作成するときの注意点

- ・2つ以上の内容について請願および陳情する場合は、それぞれの内容ごとに分けて作成してください。
- ・請願・陳情事項・要望理由は、邦文で分かりやすく書いてください。
- ・提出部数は1部です。
- ・受付は議会事務局で随時行っています。
- ・受理後に内容などの確認を行うことがありますので、連絡先と担当者名をご記入ください。

様式など詳しくは町ホームページでご確認願います。
<https://www.town.gojome.akita.jp/town/gikai/seigantinzyou/816>



改めて

議会傍聴のご案内

6月定例会では、延べ30名の傍聴がありました。主に一般質問への傍聴が多く、質問に立つ議員も答弁する町当局も、より姿勢を正し、議事に向き合っているところです。ですが議会の見所は、それだけではありません。

見所その1

●町長行政報告

議会初日に行われ、先の定例会以降に生じた主な事項について、各課毎の詳細を町長が述べます。

特に3月定例会では、新年度当初予算案が上程され、その内容を含む新年度の町政運営について、町長の施政説明、教育長からは教育行政施政について説明があります。

新年度の町政運営の方針、主な事業を知ることができます。

見所その2

●議案上程

一般質問の後、主に3日目に Rowe れます。

定例会で審議される議案を副町長・教育長が説明し、質疑の後、総務産業常任委員会、教育民生常任委員会へそれぞれ付託されます。定例会で、どんなことが話し合われるかを知ることができます。

見所その3

●各常任委員長報告

議会最終日、各常任委員会での審査の経過と結果を各常任委員長より報告があり、質疑・討論の後、議決が行われます。常任委員会が決めたことに異議がある場合は、その旨議長に申し出し、討論が行われ、最終的に起立による採決の場面となります。

議員それぞれの考えや判断が見える一場面でもあります。

住民の皆さんそれぞれの視点で議会を傍聴し、町政に関心を持ってくださることを今後もお願いいたします。

議会を傍聴してみませんか？

意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



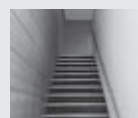
②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入
検温と手指の消毒剤あります)



④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中は静かに願います)



③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



(椎名 志保)

122

シリーズ ついせき

あれ

なんとなつたべが!

令和5年6月定例会一般質問より

問

町内経済の発展は、朝市振興が課題解決の糸口であることから、様々な施策をしているが、その効果は。

1年前の答弁

朝市の振興、これが最大の課題である。その解決が商工振興、観光振興、産業振興につながる。その効果は今のところ見えない。

現在

現在、朝市振興委員会の開催を増やし、全国朝市サミットの開催や臨時市、使用料の妥当性などを議論している。更に関係者からの意見を聞き、より出店しやすい条例改正案を議会に示し、朝市の存続と振興を図り、町内経済の発展を見出したい。



問

七倉地内の浸水対策は、抜本的な排水対策を練る構想だと答弁されたが、現状は。

1年前の答弁

今年度、県は七倉地内の現地測量を行う予定。車道部の排水桝が詰まり排水機能の低下や道路冠水を引き起こすことから、県では測量終了後、対策案を検討する。

現在

県では、国道285号の丸六物産ガソリンスタンドからハチや菓子舗までの区間、約414mの冠水対策に取り組む予定で、3月7日に対象区間沿線の関係者を集め説明会を開催している。さらに関係者からの意見や要望を聞いて設計に反映させ、設計完成後には再度、説明会を開催する予定。

問

サロンや介護予防教室へ出て来られない方たちをどう見守るか。コミュニティナースの活用で、医療や福祉・行政機関へ橋渡しを行う自治体もある。検討してはどうか。

1年前の答弁

コミュニティナースは行政では対応しきれない領域に入り、自治体と連携し、よりきめ細かいサポートが可能だ。先進地の情報収集と関連機関との連携で、安心して暮らせる体制づくりに努める。

現在

今年度より集落支援員と連携し、支援が行き届いていない方々の把握や定期的な見守りが必要な高齢者への戸別訪問を実施していく。また、地域の支え手となる方々とのつながりを深め、本町の実情に応じた見守り、支え合いの仕組み作りに取り組んでいく。

(小玉 正範)



議会を傍聴しました

「一般質問、

あなたなら何を聞く？」



工藤 尚悟さん
(秋田市)

先日、議会を傍聴してきました。議員十四名のうち九名が一般質問に立った。

まず、「一般質問って何だろう」と思ったので、調べてみた。これは議員が町政全般について疑問に思ったことや改善を求める点について質問すること。議員に特別に認められている権利で、町の人たちの意見を届け、町政をチェックする役割を担う。

議員は六十分の時間枠をフル活用し、町政が確実に前に進むような返答を引き出す。これは質問力が試される大事な仕事だ。今回は、

水害対策と少子化についての質問が多かった。

さて、みなさんがもし一般質問できるなら、何を聞くだろうか。私なら、海外の同規模くらいの町と姉妹都市になり、現地の学校と交換留学制度をつくりましよう」と提案する。子どもたちが、世界のなかの二つの似た町を、行ったり来たりしながら育っていく機会ができれば、こんなにワクワクすることはないだろう。



(佐沢由佳子)

がんばってます

6年生でがんばっているよ



五城目小学校
6年

山田 □□さん

わたしには六年生になってがんばっていることが二つあります。

一つ目は六年生としての自覚をもって行動することです。昨年、先頭に立って引っぱってくれた六年生のことを思い出しながら、委員会やいろいろな行事なども、みんなといっしょに協力して解決しています。自分の休み時間がなくなるときもあるけれど、係の役目に責任をもつことで信頼される人になりたいと思っています。

二つ目は、目的をもって勉強に取り組むことです。苦手なところでも、一つずつ何度も復習したり、生活の中に取り入れて考えたりしていくことで、より理解できることに気がつきまし

た。がんばった分、自分の力になっていくことを知ってから前向きに取り組んでいます。

今年が創立百五十周年という節目の年なので、その六年生としてふさわしい姿を見せられるよう、いろいろな行事に積極的に取り組んでいきたいと思っています。



(伊藤 信子)

編集

後記



「議会を傍聴しました」の記事が続いてから今号で9回目となりました。

各議員が議会を身近なものにしたいと考え、傍聴者に取材を行っています。

今回は傍聴に来られた方が約30名、町内の人に限らず様々です。

先日は、小学生が放課後に母親と一緒に傍聴に来てくれました。

また、JICAの研修生やさとのば大学の学生も頻繁に来てくれます。

一般質問の質問者数も9名と私を知るここ5年間で

は少なくとも最大の人数となっている議会を見に来てくださる方が増えることで、議員もそれぞれの活動を

チェックしてもらえることは、よりよい議会制民主主義の在り方だと思います。

今後、議会広報編集集を通じて、町政が身近なものとなるよう発信していきます。

議会広報編集委員会

副委員長 松浦 真記

